

小平西のきずな

「小平西地区地域ネットワーク」ニュース No. 19

2016年9月27日(火)発行

発行責任者:草野篤子(白梅学園大学)

TEL: 042-346-5639

住所:〒187-8570

東京都小平市小川町1-830

子育てサロン「うちカフェえん」を始めて 店主 伊藤絹代(いとう きぬよ)

三年前から感じていたこと、やりたいこと、を型にしたのがうちカフェえんです。

(1) 子育てを不安に思う親の手助けができません

いかな?

(2) 近所の方との交流どうやって作ればいい?

(3) 高齢者の方一人住まいの方寂しくないの

かな?

(4) 私自身なんか淋しい。子育ても一段落、天職だと思っていた保育士の仕事も体力限界で辞めた。なんか人と関わりたい、何か出来ることないかな?(そうだとみんなが集まれる居場所を作ればいいんだ。)(どうやって)(そうだとカフェ作ろう)

主人を説得。応援してもらいました。保育士の経験25年。カフェオーナーは経験0年。お客様が安心して喜んで来店して貰えるには。と、カフェオーナーの学校にいき色々な事を教えてもらいました。

次は場所です。家のリビングをカフェ風にリフォームしました。食品衛生責任者と営業許可申請書と他色々準備完了。6月1日、オープンしました。3ヶ月がすぎ、少しずつですが近所さんとのふれあいの場所になってきました。嬉しいです。普通の家玄関でドアを開けるのは勇気がいるかもしれませんが、でも、安心して下さい。ホット一息出来る空間になっています。窓からは西武拝島線がみえます。

子供達は喜んで遊びます。木製おもちゃ、絵本、お腹すいたらおやつセットあります。大人は本、CD、子供の遊ぶ姿を見ながらのんびりと本格的コーヒーをどうぞ。軽食もあります。(ランチは予約です。)一度足を運び下さい。お待ちしております。改めて色々な方と出会い助けていただき素敵なえんができました。ありがとうございます。大切にしていきます。そして、感謝します。これからもよろしくお願ひします。

<営業日等>

☆月曜・水曜・木曜・土曜



☆平日は 10時
～15時30分

土曜は 11時
30分～16時

☆所在地:小平
市小川西町5-
40-9

☆連絡先:042-344-3654 (TEL&FAX)

2016年第1(通算21) 回地域懇談会の報告

映画「おじいちゃんの季節」を観て—「きよか」が撮影現場

第21回西ネット懇談会は、「きよか」を撮影場所として作成された、第12回子どもシネマスクールin小平「おじいちゃんの季節」の上映を行いました。なおこの映画の主催はNPO法人日本映画映像文化振興センター(TEL03-3200-2118 <http://www.eibunsin.com/>)共催は公益財団法人小平市文化振興財団です。小平市・小平市教育委員会が後援しています

<以下あらすじ>

主人公山本四郎(83・石濱朗)は、三年前に交通事故で両親が他界してしまった春菜(16)、夏希(12)、秋人(10)、の三人の孫達と支えあって暮らしていました。

ところがある日、四郎に異変が生じます。自宅までの道が判らなくなった四郎が、通りかかった小学校教諭の杉浦に保護されたのです。春菜に連れられ病院へ行くと認知症の初期症状を宣告されます。

家に引きこもりがちになってしまった四郎を心配した孫達は、杉浦のアドバイスで、小学校で校長をしていた佐野まさ(上月左知子)が運営する、地域のふれあいの場『きらきら談話室』に四郎を連れて行きます。

『きらきら談話室』には、地域の主婦達に歌唱の指導をしている幼友達の月岡雪乃(80)がいました。雪乃に興味を尋ねられた四郎は、子供の頃、画家になりたかった事を思い出します。雪乃との出会いをきっかけに四郎は『きらきら談話室』に通い、絵を描き始めます。

ところが四郎の絵には東京大空襲の時の眼を背けたくなるような光景が描かれていました。孫達はその絵を怖がりましたが、杉浦は四郎に課外授業で児童達に絵を見せながら戦争体験の話をして欲しいと懇願します。四郎は「話したくない」と断わったが、絵を怖がっていたはずの孫達から「お爺ちゃん

小平西地区ネットワークって何？

2012年3月17日に白梅学園大学関係者が様々なNPO、ボランティア団体、民生・児童委員、町内会、大学・学校などに関係する方々に呼びかけて「お互いの顔が見える人間関係が豊かな地域づくり」を目指して立ち上げました。個人ベース(団体の担当者でも可)の加入を基本とする開かれたネットワークです。市民の皆さん一緒に活動に参加なさいませんか？

の戦争体験が聞きたい」と言われ、話すことを決意します。

課外授業当日、四郎は孫達や児童達、雪乃に励まされ、70年間誰にも語らなかった東京大空襲の燃えさかる炎の中を一家で逃げた体験を、皆の前で語ります。四郎の話聞き終わった一同は息をのみ、改めて戦争の怖さを知ったからです。



数日後、駐輪場に働く四郎の姿がありました。「私は認知症です、また道に迷っているようなことがあったら助けて下さいね」と杉浦に言うところで終わります。

<まとめ>

特に議論などはありませんでしたが、小平西ネットが今後取り組んでいく方向への示唆がたくさんありました。なお映画に登場する子どもたちは小平市を中心として選ばれています。

後半は4つのブロックに分かれてよりせまい地域での交流について話し合いました。4つのブロックでコミュニティ・サロンがスタートし、各ブロックでの話し合いも具体的な取り組みが積極的に交流されるようになりました。今後更に狭い範囲での交流がすすむように懇談会でも訴えかけていけたらと思います。(文責:瀧口優)

白小平西地区地域ネットワークに 参加することの重要性

白梅学園高等学校校長

青山 彰

本校では、平素から小平西地区地域ネットワークの活動を通じて、様々にご教示を賜るとともに、地域連携の形で実地の経験を積み重ねていただいています。特に、地域行事を通じての小平第十二小学校、小平第五中学校との連携、公私を越えた都立小平西高等学校との情報交換など、同じ地域の中であっても、ややもすると繋がりが弱くなりがちな関係機関との連携を重視し、地域コミュニティへの意識的な参加に取り組んでいるところです。

今年も、8月の小平市「灯り祭」に参加する準備に、7月の1学期期末考査明けから生徒たちが取り組み、地域の皆様と共に、祭の盛会を願っています。また、各学期にはボランティア活動として地域清掃等で、地域の

皆様にお世話になっています。

地道な取組ではありますが、いわゆる「白梅スタイル」を今後とも継承・発展させながら、地域の皆様と一層コミュニケーションを深め、地域に愛される学校として教育活動を展開していきたいと考えております。

本学園の大学・短大にも多くの生徒が進学しております。白梅学園大学・短大が小平西地区地域ネットワークに果たす役割を、学園内で先輩から後輩に伝え、高校での地域貢献活動に反映することもできていると考えます。

今後とも、地域に根ざす学校の実現を目指して取り組んでまいります。

よろしく願いいたします。

こだいら NPO セミナー2016 感想

家族・地域支援学科3年 齊藤千尋

今回、私は小平市社会福祉協議会のボランティアセンターの実習生として、また白梅学園大学のゼミの一員として参加しました。このセミナーの特徴の一つは、昨年のボランティアに参加した学生が基調報告をすることにあります。そのことで、今年度の参加学生は具体的なイメージをすることができます。

ボランティアと聞くと、私は児童・障害者・高齢者等を思い浮かべていたけれど、受入団体の中には環境に関わる「こだいらソーラー」「小平・環境の会」があり、印象的でし

た。私は、「小平・環境の会」に参加し、農作業を行いました。そこから見えてきたのは、日本の食料自給率の低さです。高校生までに勉強してきてはいましたが、大学で第一次産業のことを学ぶことはあまりなく、改めて考える機会となりました。また、「こだいらソーラー」は、原子力発電や地球温暖化の問題に取り組んでいます。

福祉に関わらず、このような受入団体があることで幅広い学生が参加しやすくなっていると思います。今年度は参加学生が少な

ったようですが、当日のセミナー後の会議では、宣伝の幅を広げようと次年度の改善策が話されていました。

打ち合わせから振り返り間で参加し、社会福祉協議会・NPO 団体・大学（学生、教員）の多くの人々が、協働している活動が見えまし

た。NPO セミナーは、今年で 13 年目になりますが、これからも、学生と地域をつなぐ役割を担うためにさらなる発展を目指しています。

地域子育て支援演習「あそぼうかい&世代間交流ひろば」を実施して

(大石静：白梅学園大学子ども学科 1 年代表)

<まえがき>

「白梅子育て広場」についてはこの「小平西のきずな」でも何回か取り上げていますが、白梅学園大学・短期大学が 12 年前にスタートした学生が中心となった子育てや世代間交流の広場です。乳幼児だけでなく、小学校や障がいを持った人々、あるいは高齢者を対象として様々な広場を開催してきています。今回は 7 月 2 日（土）に行われた「地域子育て支援演習」という科目の受講生や朝鮮大学校保育科の学生が行った「あそぼうかい&世



代間交流ひろば」（以下「あそぼうかい」）の代表に書いてもらいました。当日は高齢者が 20 人以上、子ども

達が 40 組以上参加し、朝鮮大学校の学生も含めて 100 人を越える学生が準備や当日の運営に関わっています。

<以下代表の感想です>

私は 7 月の「あそぼうかい」で多くのことを学びました。今回、代表として参加しましたが、代表の仕事はこんなにも大変なのかと実感しました。どうすればみんなをまとめる事ができるか、各コーナーでの進み具合はどうか、参加者の方に楽しいと思ってもらうには何が必要かなど、様々な目線で全体を見なくてはいけないからです。しかし、同時に



仲間の存在がどれほど重要であるかも実感しました。

私は初め、1 年生ということもあり、顔と名前

前が一致せず、余計に困惑することも多くありました。そんな時、代表陣 3 人いつも私を一番近くで支えてくれました。そして参加する学生たちや先輩方の協力のお蔭で私たちはチームとして、仲間として企画を進めることができました。チームの団結力が「あそぼうかい」を少しずつ確実に良いものにしていったのです。時に悩んだり、うまくいかないことも多くありましたが、代表やコーナーリーダーたちと何回も会議や話し合いをすることで、どうしたら参加者の方々が楽しいと思ってくれるかを深く考える事ができました。



今回の「あそぼうかい」が成功したのは仲間の存在のおかげだと思います。仲間がいたから色々なトラブルや

課題にもしっかりと取り組むことができました。私は初めの時よりも皆との絆が深まったと確

信しています。この経験で改めて仲間の大切さを学びました。しかし、反省や改善点もまだまだあります。次の「あそぼうかい」では

少しでも改善できるように皆で工夫し、より良いものになるように全力で取り組んでいきたいと思っています。

ほっとスペースきよかは1周年！

家族地域支援学科教員 西方規恵

ほっとスペース「きよか」は2015年5月18日に正式開所をして1周年を迎えました。そこで、2016年5月29日、「ほっとスペース『きよか』1周年の集い」を行い、お祝いをいたしました。

この1年間で「きよか」は38回開所し、のべ562名（スタッフも含む）の方にご来所いただきました。開所日が変わる、スタッフが足りないなど紆余曲折はありましたが、8月からは定例化し、祝日以外は毎週開所するなど着実に歩みを進めてきました。定例以外に場所を提供し、草鞋作り、らっきょう漬け、味噌作り、つるし雛作り等地域の皆様の活動の場としてもご利用いただきました。その1番が映画づくりに場所を提供したことでしょう。



さて、1周年の集いには29名の方が参加されました。社会福祉協議会の金子会長様もお忙しい中いらしてくださいました。石川代表の挨拶、1年間の活動報告などの後、きよかを使った映画「おじいちゃんの手紙」を参加者全員で鑑賞しました。スタッフやきよかに集まる皆さんがエキストラとして出演していることもあり、終始笑顔が見られ、和やかに鑑賞しました。いつもお料理を作ってくださいるスタッフの方の美味しいお料理に舌鼓を打ち、目出度いたいやきをほおばり、楽しく懇談しました。



ほっとスペース「きよか」は2周年に向け始動していきます。この先も、スタッフの皆様方のチームワークと暖かい心配りで様々なことを乗り越えていきたいと思っています。

コミュニティサロン ほっとスペースさつき ミニバザ

家族・地域支援学科3年 真崎あや乃

2016年5月22日（日）午前10時から15時まで、「ほっとスペースさつき」でミニバザーが開催されました。白梅学園大学の家族・地域支援学科の森山専門ゼミ学生4名が、午前と午後に分かれてお手伝いとして参加しました。この日は天気にも恵まれ、5月とは思えないような暑さではありましたが、子どもから高齢者まで沢山の方に来て頂きました。

このバザーには、敷地の中がいっぱいにな



るくらいの洋服や雑貨、陶器類などの品物があり、関谷先生（昨年度まで本学教員、現非常勤講師）の農園で作った野菜も並べられました。午前 9 時から会場の準備をしましたが、10 時前から人が集まり品物を購入していく人の姿も見られ、このバザーを楽しみにしていた方がいることもうかがえました。ど

の品物も売れていきましたが、野菜もとても人気で飛ぶように売れていきました。

ほっとスペースさつきのミニバザーを通して、スタッフ、来ていただいた方々、学生それぞれがコミュニケーションを図り、世代間の交流を行うことができ楽しい一時が過ぎたと感じました。

FM 西東京学生スタッフとして考えること

津田塾大学国際関係学科 2 年 津田塾大学放送研究会

FM 西東京学生スタッフ 中本 紗月

ジリジリと照り付ける太陽が眩しい猛暑日となった 7 月 2 日。私は白梅子育て広場が主催する「海で涼しく！七夕まつり」に向かいました。会場に着くと、海の生き物や七夕の織姫・彦星がお出迎え。暑さを忘れて、すっかり涼しげな雰囲気になりました。

私は小平市にある津田塾大学に通う学生です。私の所属する放送研究会では、発声練習や、ラジオドラマ・DJ・映像作品などの番組制作をしています。また、小平市内で行われる多くのイベントの司会を担当。そして、コミュニティラジオ放送局「FM 西東京」の学生ボランティアスタッフとして、小平の魅力を紹介する情報番組「こだいら MIX」に携わっています。イベントの進行役として、番組のレポーターとして、小平市内の様々な場所を訪れているのです。

今回訪れた「七夕まつり」は、子供からお年寄りまでたくさんのお客様が訪れていて、大盛況。学生の皆さんの、いきいきとした表情や、笑顔で接する姿を見ていると、私まで幸せな気持ちになりました。年齢を問わず地域の人と触れ合うことができ、また来たいと自然と思えるイベントでした。



今後も、小平市で行われているイベントやお店などを訪ねて、地域の人に寄り添いながら、その魅力を最大限に伝えていきたいです。小平市をより一層盛り上げていけるように、精一杯頑張ります。

教えるというより一緒に考える

白梅学園大学 1 年 波多野 菜子

私は5月末から「分かった会」の講師として参加させていただいています。教えているなかでよく感じることは、この時期の勉強はとて大切だということと、思いのほか難しい問題があることです。特に算数は私自身、得意ではありません。それでも一応、今までの内容はクリアしてきたつもりですが、自分が解くことと教えることには違った難しさがあります。どこまでの公式を知っているのかわからなくて手こずってしまったたり、難しく考えすぎてどう解くかがなかなかわからなかったりするが多々ありました。

また、漢字ドリルに取り組んでいる子を見てみると、写し間違いがあったり適当に書いていたりします。確かに漢字の書き取りは面倒ですが、この頃にしっかりと定着させないと大人になって恥ずかしい思いをするので、しっかり覚えることの大切さを伝えたいと思っています。

最近では、子どもたちと顔馴染みになり、向こうから話しかけてきてくれるようになりました。生徒たちの色々なお話をしてくれるのでとても楽しいです。私もこの頃はこうだったなあ、ああだったなあ、と懐かしく思います。他の講師の方とお話することも良い刺激になっています。普通に大学生生活を過ごしているだけでは得られない経験が出来るので、とてもありがたく思っています。しかし私は、教えるというよりは一緒に考えるという感じになっているので、もう少しうまく教えられるように努力したいです。



「分かった会」の今 — 。
奈良 勝行

8月4日と18日は午後3～5時と6～8時の恒例の“ダブルヘッダー”講座。生徒（小6から中3まで29人）の約半数が両方に参加して暑さにめげず熱心に勉強に励んでいました。（11日は「お盆の週」なので休講）。

なお、講師の一人が生徒にもう少し学力をつけたいということで、9月6日から中3生7人を対象に、火曜日に「あすなる会」という名前で講座を開始しました。つまり、中3生の希望者は、木曜日は「分かった会」、火曜日には「あすなる会」と、週2回参加することになります。（公民館の使用規定で、同じ団体名で週2回は利用できない）。

コミュニティ・タクシー第4回会議報告

考える会委員 今野志保子

コミュニティタクシー（略称コミタク）は大沼地区での導入を皮切りに、栄町、鈴木町と3地区3ルートで運行されています。第一号の大沼ルート運行開始から7年が経過してやっとのことで、最後に残された南西部地域で考える会第一回目の会議が5月30日に開催されました。

南西部とは、青梅街道より南側、多摩湖線

より西側を指します。この地区が最後になったのは、エリアが広大で、道路がやけに狭いというのが、原因の一つと聞きました。考える会には、この地区の自治会等中心に19団体が参加しています。会議は5月から毎月一回のペースで開催されており、8月24日に4回目を終えました。

これまでの会議



の推移としては、にじバスコミタクの導入と経緯の説明、コミタク運行に関する制約、かつの乗車ニーズ調査（アンケート）結果の把握、小平南東部（鈴木町コース）の考える会の方との意見交換、最新乗車ニーズの把握のためのアンケート様式の検討といったところ

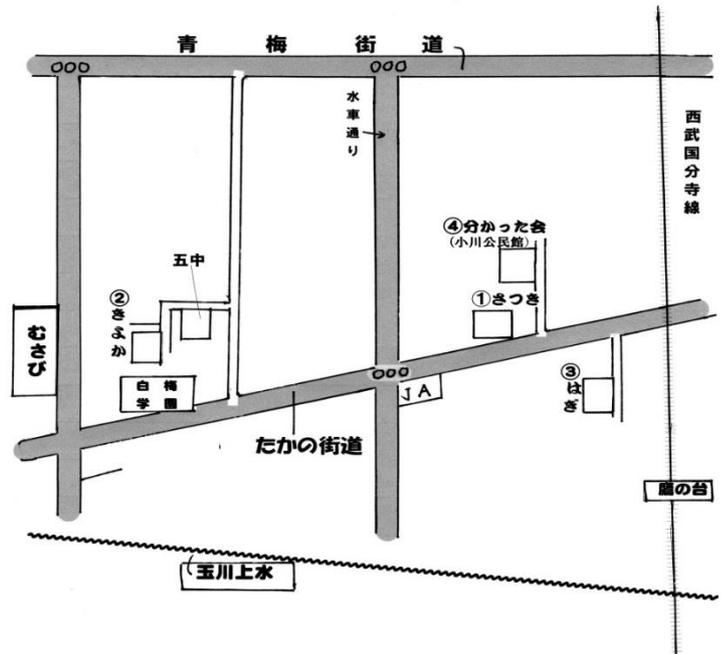
です。今後はグループに分かれて交通空白地域の洗い出しやニーズを反映したルートづくりを行います。

現在アンケート調査中です。みんなで声を上げて、便利で活気ある街にするために動き出してみませんか。

皆さん、コミュニティ・サロン(下の①～③)と「中学生勉強会」(④)に足を運んでみませんか？

お待ちしております！（右の地図を参照）

- ① **ほっとスペースさつき**
毎週火曜と木曜 10:00～16:00
問合わせ：渡辺 穂積
TEL: 042-344-7412
- ② **ほっとスペースきよか**
毎週月曜 10:00～15:30
問合わせ：石川 貞子
TEL: 090-7732-2089
- ③ **アットホームはぎ**
毎月 7, 17, 27 日：14:00～17:00
問合わせ：萩谷 洋子: 042-342-1738
- ④ **「分かった会」小中無料学習教室**
毎週木曜日 18:00～20:30（小川公民館）
問合わせ：奈良 勝行（講師募集中！）
TEL: 090-4435-4306



イベントの予定

- 10月08日（土）小平十三小地区防災訓練（小平特別支援学校）
- 10月08日（土）・09日（日）小川西公民館祭り
- 10月15日（土）小平十二小青少対祭り
- 10月22日（土）・23日（日）「白梅祭」

西ネットの今後の予定

- 学内会議：10/11, 12/6, 1/10, 1/31, 2/28
- 世話人会：11/22, 2/14
- 懇談会：9/27, 12/20, 3/11

- 10月22日(土) 黎明会秋祭り
- 11月12日(土) 小平十三小青少対祭り
- 11月26日(土) 白梅子育て広場(13時より)
- 12月03日(土) 上宿小青少対祭り(10時より)
- 12月17日(土) 白梅子育て広場シンポジウム
- 12月20日(火) 西ネット懇談会(18時より)

西ネットの世話人

ブロック	地域世話人	学内世話人
1	西 克彦・丸山	瀧口 優・ 福丸由佳・山路憲夫
2	足立隆子・早田 満 芳井正彦・今野志保子	午頭潤子・土川洋子 吉村季織
3	石川貞子・大内智恵子・ 久保田進・穂積健児・ 杉浦博道・吉田徹	金田利子・草野篤子 瀧口真央・西方規恵 牧野晶哲
4	桜田 誠・萩谷洋子 福井正徳・細江卓朗 渡辺穂積	井原哲人・杉本豊和 森山千賀子
全体		奈良勝行・長谷川俊雄

お願い：この広報紙『小平西のきずな』の編集方針は、「顔の見えるネットワークづくり」を目指して参加団体(者)の活動などを紹介し、文字通り「市民のきずな」を築いていこうとするものです。ニュースの全部または一部を改編することはお断りします。もし使用したい場合は編集担当(奈良まで)お申し出下さい。

投稿募集：このニューズレターは皆さんと一緒に作るものです。活動の報告やイベントの企画などについての原稿をお寄せください(奈良勝行)。

メール：ever.onward.nara@xd5.so-net.ne.jp

編集後記：19号は夏休みをはさんで少し間が空きましたが、地域での新しい取り組みも始まって多様な記事が集まりました。西ネットができて5年目になりますが、少しずつ地域のつながりが見えてきたような気がします。原稿を寄せて頂いた皆様、ありがとうございます(瀧口優)。